

平成 23 年 10 月 31 日

保護者の皆様

発達支援室長

あおぞら園での暫定基準値を超える放射線量測定値の検出に伴う対応について（お知らせ）

日頃より、あおぞら園の運営につきましてご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、平成 23 年 10 月 24 日（月）に、あおぞら園における雨水排水口の放射線量測定を行ったところ、雨水排水枡の沈殿汚泥表面から最高毎時 1.07 マイクロシーベルトという測定値を検出いたしました。この結果を受けて、翌 10 月 25 日（火）の朝に再測定を行ったところ、外テラスに 3 か所ある雨水排水枡内、外テラスの階段及びスロープ下の雨水が集まる芝の上で※暫定基準値（毎時 0.19 マイクロシーベルト）を超える数値を検出いたしました。（詳細は、別紙「放射線量測定場所位置図」及び「空間放射線量測定値結果表」のとおり）

測定後、※暫定基準値を超える数値を検出した場所は、芝や汚泥の除去、水による洗浄などの清掃作業を行いました。結果、清掃作業後全ての箇所で、※暫定基準値を下回る数値となりました。

また、清掃した汚泥等については、現行では処理方法が整っていないことから、当分の間の対応として、土のう袋に詰め、児童が立ち入ることのない園内裏庭を 80 センチ掘り下げ、ビニールシートに包みこんだ状態で埋め立てて仮処理をしています。埋設後、表土表面の放射線量測定結果については、毎時 0.041 マイクロシーベルトという数値でしたので、安全に処理出来たと判断しています。

なお、※暫定基準値を大きく上回った雨水排水枡については、鉄製蓋がかけられており、児童が直接触れる場所ではなく、清掃作業前の鉄製蓋の上部の測定値は※暫定基準値以下でしたので、児童への直接的な影響はなかったものと考えています。

清掃作業後の放射線量は、※暫定基準値を下回っていることから、園庭活動の制限はいたしません。雨水を通じて放射線量が高まる場所があることが想定されることから、雨水の排水口については、継続的に清掃を行うことやこれまでの定点測定に加えて、リスクの高い場所の定期測定を行うなどの放射能対策には万全を期し、安全な環境作りに今後も一層の努力をしていきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

ご不明の点があれば、下記担当までお尋ねください。

※暫定基準値：空間放射線量の暫定基準値（毎時 0.19 マイクロシーベルト）については、国が示す年間被ばく線量を 1 ミリシーベルト以下とする基準から、1 日のうち屋外に 8 時間、屋内 { 遮へい効果 (0.4 倍) のある木造家屋 } に 16 時間滞在するという生活パターンを仮定して算出したものです。

事務担当は、あおぞら園 谷屋